

令和2年度 市政ネットモニター 調査結果

「福島市のまちづくりに関する取り組みについて」

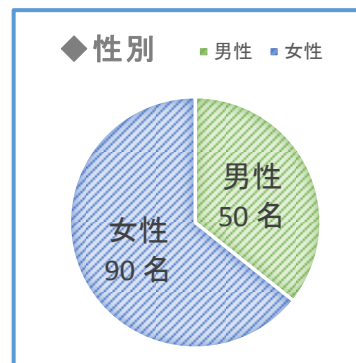
テ ー マ	福島市のまちづくりに関する取り組みについて
目 的	<p>福島市では、福島市総合計画後期基本計画（計画期間：2016年度～2020年度）に基づいて、さまざまな分野でまちづくりに関する取り組みを進めています。</p> <p>本アンケートは、福島市のこれまでの主な取り組みについて、市民の皆さんに評価をいただくとともに、今後の市政運営について、市民の皆さんが優先的に行なって欲しいと考えていることを把握するために実施したものです。</p>

調査期間	令和3年2月17日（水）～令和3年3月3日（水）
モニター数	165名（男性 58名 / 女性107名）
回答者数	140名（男性 50名 / 女性 90名）
回答率	84.8%

【回答者の基本属性】

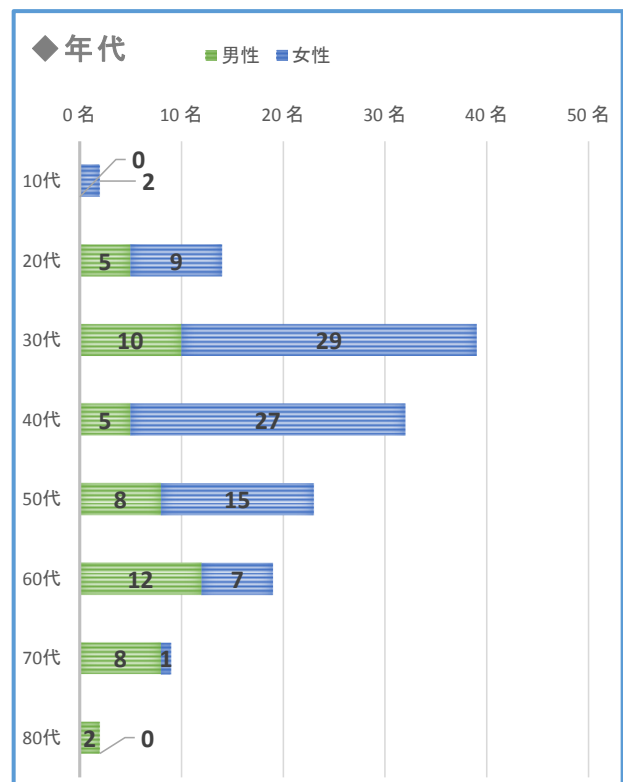
◆性別

性別	人数	割合
男性	50名	35.7%
女性	90名	64.3%
合計	140名	100.0%



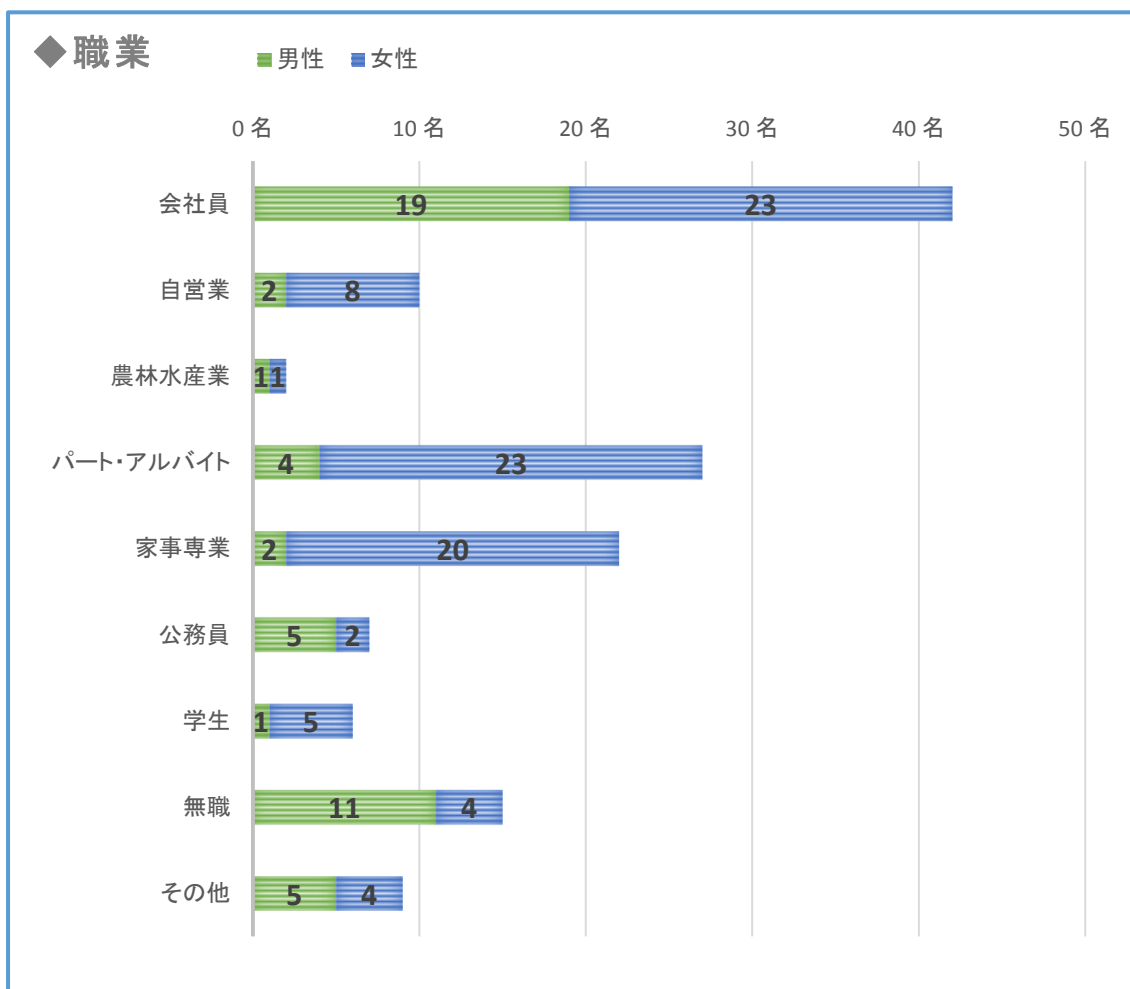
◆年代

年代	男性	女性	合計
10代	0名	2名	2名
20代	5名	9名	14名
30代	10名	29名	39名
40代	5名	27名	32名
50代	8名	15名	23名
60代	12名	7名	19名
70代	8名	1名	9名
80代	2名	0名	2名
合計	50名	90名	140名



◆職業

職業	男性	女性	合計
会社員	19名	23名	42名
自営業	2名	8名	10名
農林水産業	1名	1名	2名
パート・アルバイト	4名	23名	27名
家事専業	2名	20名	22名
公務員	5名	2名	7名
学生	1名	5名	6名
無職	11名	4名	15名
その他	5名	4名	9名
合計	50名	90名	140名



問1～問3 2 あなたは、次の取り組みに、どの程度「満足」されていますか？

◆総合計画後期基本計画に基づく取り組み項目を示し、それぞれの取り組みに対して、どの程度満足しているかを尋ねました。

福島市総合計画後期基本計画に基づく取り組み項目

章	施策	枝番
第1章 いのちを大切にすまち	1. 安心できる生活環境の向上（放射線対策）	1-1
	2. 安全な生活の確保	1-2
	3. 生涯健康と保健医療の充実	1-3
	4. 地域福祉と障がい者福祉の充実	1-4
	5. 人権尊重の推進	1-5
	6. 避難者支援の充実	1-6
第2章 女性が活躍できるまち	1. 女性の就労支援の充実（子育て支援）	2-1
	2. 男女共同参画社会の推進	2-2
第3章 こどもと高齢者を大切にすまち	1. 子育て支援の充実	3-1
	2. 学校教育の充実	3-2
	3. 高齢者施策の充実	3-3
第4章 活力あふれるまち	1. 農林業の振興	4-1
	2. 工業の振興	4-2
	3. 商業の振興	4-3
	4. 観光の振興	4-4
	5. 雇用機会の創出と勤労者福祉の向上	4-5
	6. 総合交通網の整備	4-6
	7. 中心市街地の活性化	4-7
	8. 交流・定住の促進	4-8
	9. 市民文化の振興	4-9
	10. スポーツ・レクリエーションの振興	4-10
第5章 「次世代の環境」の住みよいまち	1. 再生可能エネルギーの推進	5-1
	2. 住みよい環境の形成	5-2
	3. 地球環境への負荷の低減	5-3
	4. 環境衛生の向上	5-4
	5. 情報通信技術の活用	5-5
	6. 安定的な水道水の供給	5-6
	7. 生涯を通じた学びの推進	5-7
	8. 地域における国際化の促進	5-8
計画の実現に向けて	1. 地域経営の推進	6-1
	2. 効率的な行財政運営の推進	6-2
	3. 近隣自治体との連携の推進	6-3

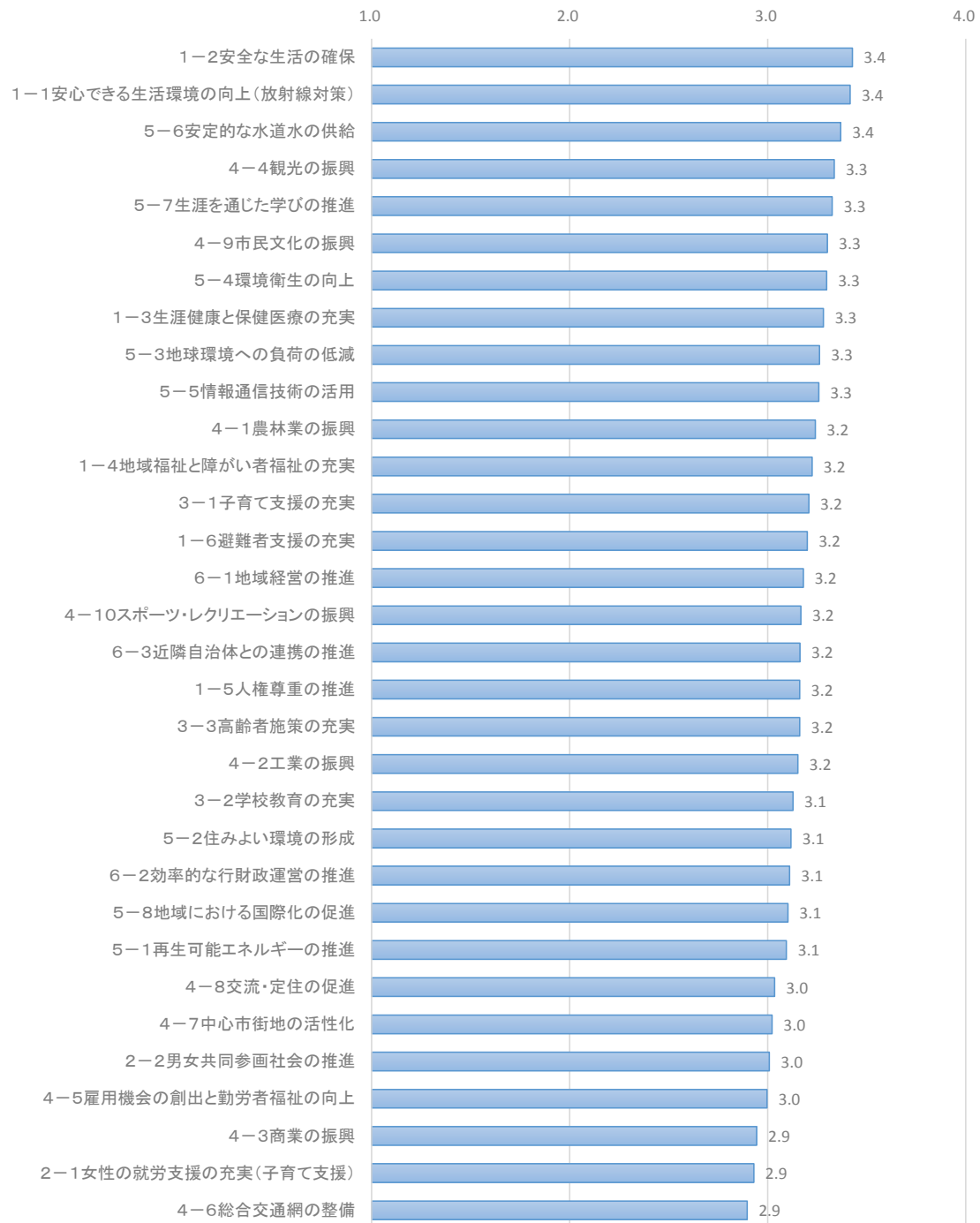
◆回答は、「非常に満足」「満足」「やや満足」「どちらでもない」「やや不満」「不満」「非常に不満」「わからない」から、1つ選択してもらう方法としました。

◆各取り組みの満足度を比較するため、各選択肢を指数化し、次のグラフのとおり順位付けしました。

（※小数点第二位以下の数値を踏まえて順位付けしています。）

指数	5	4	3.5	3	2.5	2	1
選択肢	非常に満足	満足	やや満足	どちらでもない	やや不満	不満	非常に不満

◆満足度



【政策調整課】

「安全な生活の確保」、「安心できる生活環境の向上（放射線対策）」、「安定的な水道水の供給」などが上位にあり、台風等に対する防災・減災などの水害対策パッケージや東日本大震災及び原子力災害からの復興、安全でおいしい水道水の供給などの取り組みに対して評価をいただきました。

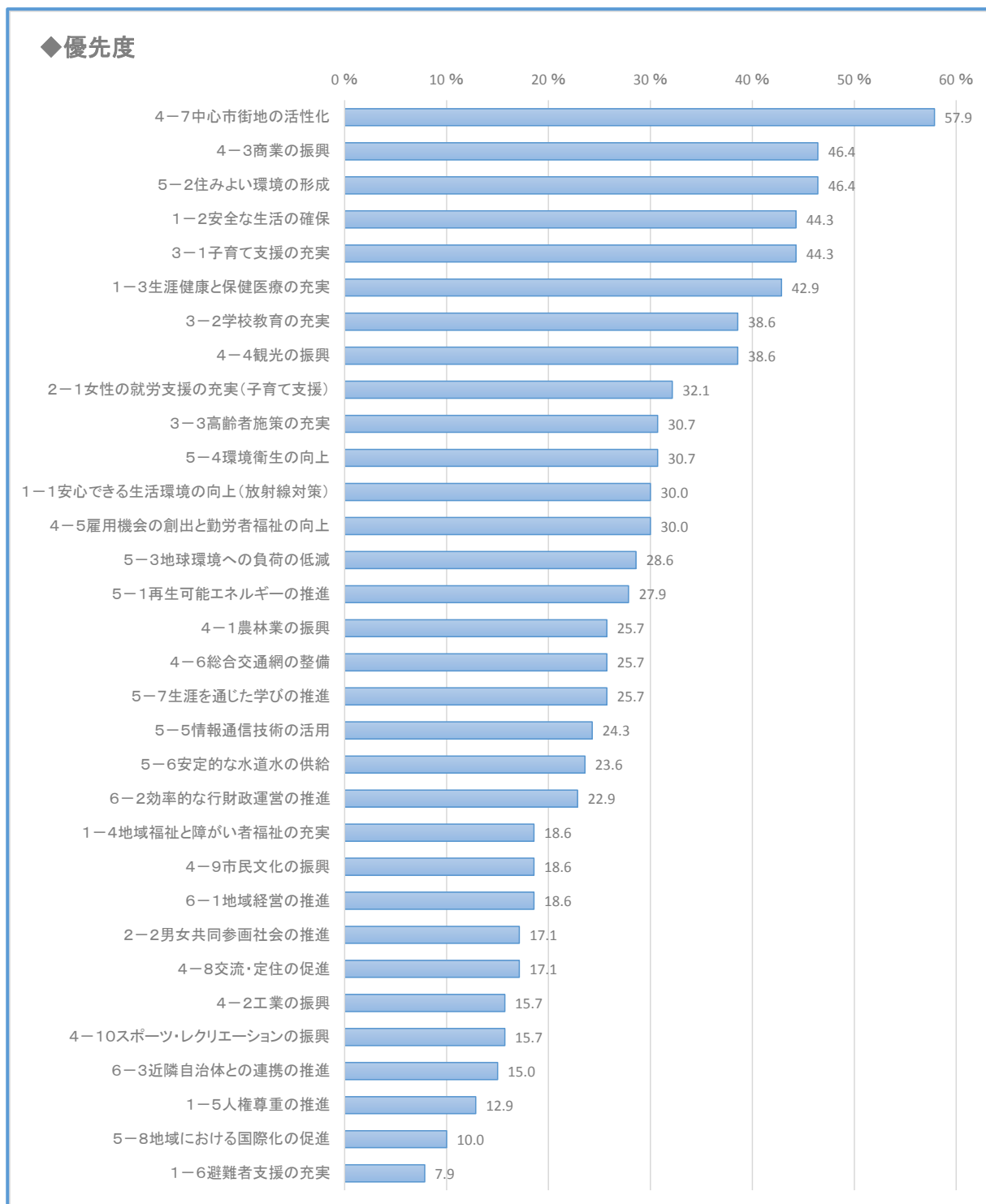
一方で、「商業の振興」や「女性の就労支援の充実（子育て支援）」、「総合交通網の整備」などで満足度が低くなっています。

問33

あなたは、本市が進めているまちづくりに関する取り組みについて、今後特に「優先」すべきだと思うものはどれですか？《複数回答可》

◆総合計画後期基本計画に基づく取り組み項目を示し、それぞれの取り組みに対して、今後特に優先すべきだと思うものを尋ねました。

◆取り組み項目の一覧は、3ページをご覧ください。



【政策調整課】

「中心市街地の活性化」、「商業の振興」、「住みよい環境の形成」、「安全な生活の確保」、「子育て支援の充実」、「生涯健康と保健医療の充実」などが上位にあり、地域経済の活性化や自然・生活環境の保全、安心安全、子育て支援、健康・医療などの取り組みに対して優先的な推進が望まれています。

問34	本市のまちづくりに関する取り組みについて、ご意見などがありましたら、お聞かせください。
-----	---

- ◆まちづくりに関する意見について、自由記入欄を設けて任意に記述していただいた結果、57名の方からのべ96件の回答がありました（1名が複数の意見を記入している場合があります）。
- ◆いただいたご意見は、総合計画後期基本計画の取り組み項目に沿って分類しました。
- ◆なお、市政全般にわたるご意見など、上記による分類が困難なものについては、その他として任意の項目によって分類しました。

【総合計画後期基本計画の取り組みによる分類】

取り組み項目	件数
第1章 いのちを大切にすまち	11
(1) 安心できる生活環境の向上（放射線対策）	4
(2) 安全な生活の確保	5
(3) 生涯健康と保健医療の充実	1
(4) 地域福祉と障がい者福祉の充実	1
(5) 人権尊重の推進	0
(6) 避難者支援の充実	0
第2章 女性が活躍できるまち	0
(1) 女性の就労支援の充実（子育て支援）	0
(2) 男女共同参画社会の推進	0
第3章 こどもと高齢者を大切にすまち	8
(1) 子育て支援の充実	3
(2) 学校教育の充実	4
(3) 高齢者施策の充実	1
第4章 活力あふれるまち	34
(1) 農林業の振興	1
(2) 工業の振興	1
(3) 商業の振興	6
(4) 観光の振興	3
(5) 雇用機会の創出と勤労者福祉の向上	1
(6) 総合交通網の整備	6
(7) 中心市街地の活性化	14
(8) 交流・定住の促進	0
(9) 市民文化の振興	2
(10) スポーツ・レクリエーションの振興	0
第5章 「次世代の環境」の住みよいまち	14
(1) 再生可能エネルギーの推進	0
(2) 住みよい環境の形成	4
(3) 地球環境への負荷の低減	3
(4) 環境衛生の向上	4
(5) 情報通信技術の活用	2
(6) 安定的な水道水の供給	0
(7) 生涯を通じた学びの推進	1
(8) 地域における国際化の促進	0
計画の実現に向けて	1
(1) 地域経営の推進	1
(2) 効率的な行財政運営の推進	0
(3) 近隣自治体との連携の推進	0

【その他の分類】

取り組み項目	件数
1. 市政運営	16
（1）市政に対する期待	3
（2）市民協働・市民目線による市政運営の推進	2
（3）各地区の活性化に対する意見	5
（4）SDGsの取り組みに対する意見	1
（5）その他の意見や提案など	5
2. 市民との情報共有	9
（1）市民の声を聴く機会の充実	1
（2）情報発信やPRの充実	8
3. 公共施設	2
（1）公共施設の老朽化や建替えに対する意見	2
4. 市職員	1
（1）市職員への意見	1

【ご意見一覧】

ご意見一覧（順不同）
小さなことにも耳を向けてください。
朝ドラ「エール」の放送に伴い、街が古閑裕と関連で統一されたのは良かった。パネルは目を引いたし、音符が付いたバスも可愛かった。
中合の跡地に交流スペースがあっても、若者向けの店が無ければ行かないと思う。また、何をやる場所なのかわかりにくい。交流スペースの設置場所が駅前でなければいけない理由もわからない。
ポケモンのラッキーとコラボをしたのは大変嬉しく思うが、関連した商品やイベントが少ないと感じた。宮城県のように伝統工芸と絡めたり、各市町村の特徴を活かしたグッズが欲しい。
まちづくり、市政、そのどちらにも言えることは主人公である「ひとづくり」の重要性です。市民が自然にまちづくりの担い手となるように、市政を運営していただきたいと存じます。そのためには、学校教育はもとより、生涯教育にも力を入れていただきたいし、各部横断的に「ひとづくり」について施策を講じていただきたいと存じます。
学校校舎の整備。老朽化や校舎壁面の塗料等剥がれ、見た目にも良い教育環境が整備されているとは思わない。綺麗な校舎に整備して行きたくなるようにしてもらいたい。
新型コロナ感染防止等話題が中心になり、市の施策等の動向等の発信が少なくなっているようです。話題等タイムリーに市政情報・取り組み状況等を発信してもらいたい。まちづくりなど今回の間にあるような案件について。新型コロナでいたしかたがないとは思いますがどうぞよろしく願いいたします。
警察や地域団体と連携した防犯の推進もまちづくりに欠かせないと思う。
コロナ感染拡大の長期化により、プレミアム付きエールクーポンは苦境に立たされている地元の飲食店の助けにもなり、福島市の活性化にもつながるので今後も続けてほしいと思っております。
子育て支援に注力して欲しい。幼稚園の枠を増やして欲しい。
項目が多いのでいろいろ意見があり時間的に後日送付します。
県内産の食べ物を学校給食に使うことに今も不安がある。相馬沖の魚からも基準値以上の放射線量が検出されている。放射能の検査は、継続を強く希望する。

ご意見一覧（順不同）

活用しなくなった施設（廃校の建物等）の賃貸又は処分、利用者が少ない施設の廃止または指定管理への移行検討等により経費節減策も検討していただきたい。今回の調査は特定の狭い分野に関わることが多く認識しないことがあった。市で計画して進めていることは定期的に市民知らせて理解を得ることが肝要と思います。

地球環境問題に対して、積極的に対策を進めて欲しいです。ゴミの分別やリサイクルに対する意識が低い市民が多いと思うので（特に高齢者は今までのやり方を改めることができずにいる人が多いです。ゴミは分けなくても回収してもらえればいやとか少しくらいでは変わらないだろうとか自分たちの未来には関係ないとかいう人を見かけます）。

コロナ禍であるから最近はまだ活気が感じられない。特に福島東口はがっかりする。中合百貨店の閉店で福島市ブランドは落ち目がち。近い将来にまた百貨店のような大きなテナントが入るお店がオープンしてくれたら嬉しいです。

福島駅周辺の活性化。鳥のフン後が目立つ。ムクドリ作戦の後、渡利地区、日赤病院付近にムクドリやカラスが移動したように思います。堀河町付近にカラスとフン後が多いように感じます。

分からないことが多かったので、もう少し関心を持つように心掛けていきたいと思いました。

地球の資源は限られています。新しい建物や物をどんどん作るのではなく、今あるものの有効利用を一番考えてほしい。例えば、古民家をリフォームして市の施設や街の活性化につながる施設に使う。

福島は車無しだと非常に生活しづらいです。東口側のもりんバスはとても有難く、ダイヤも多く利用しやすいです。一方西口側から東口側に行く便が少なく不便です（例えば大きい病院や市役所に行く便）。西口⇄東口間も地下連絡通路以外に改札を通らずに行く道を作って欲しいです。また、東口の商店街に何か誘致して欲しいです。パチンコ屋や飲み屋ばかりで、栄えていないように思います。福島市は仙台や郡山に比べて出店していないお店が多いと思います（H&Mやバースディ、スリーコインズやアカチャンホンポなどあったら子育て世代は嬉しいです）。若者も楽しめるように服屋やゲームセンター（仙台駅前のように）、オシャレなランチが楽しめる店があると活気づくと思います。

福島市のまちづくりに関心を持っていますが、行政が市民が福島に住んでいることが誇りに思えるようなビジョンが提示できるといいと願っています。

放射線・放射性物質に関しては、安心・安全をアピールするだけではなく、本当に危険な場合はきちんと市民に対して説明してほしい。県や東電にも毅然とした態度を取ってほしい。

にぎわいを作る施設は、中心市街地に集中させるのではなく、市内に点在させてほしい。そして、もう少し市内の循環バスのルートや本数を増やし、便利にしてほしい。

福島市のカラーがない。外からひとが来ない。駅前といい、今後どうしていくのかがさっぱりわからない。目玉のものもない。

町内会加入への促進。

市街地の賑わいを取り戻すために、引き続き尽力していただきたいです。

文化都市としての福島市を創出すること。芸術を振興し、若手を育てる街づくりをする。将来著名な芸術家を輩出するため、各方面から大家を招聘すること。芸術大学をつくること。

道路が毎年へんです。レンガ系のところを工事したらレンガで仕上げてください。アスファルトとませこぜでは景観どころではないと思います。街中の空洞化が、加速していると思います。街中の空きビル等の賃貸等を安くして、もっと人が歩いている姿がまちづくりの基なのではと思います。

IT化、キャッシュレス化は、アナログの部分の将来性を残してほしいです。高齢の親に説明ができません。また、自分自身も年々年を重ねるので、これ以上進むとついていけなくなってきました。

ご意見一覧（順不同）
他県から来た方に、福島駅前は、びっくりするくらい何も無いねと言われた。店がなくても、もう少しインパクトのある景観の町並みにしてほしい。
子供達のスクリーニング検査は早く止めるべきです。代わりに、元医大の緑川医師など、早くから関わってきたドクター達が行っている親子講座をもっと推進するべきと考えます。
行政職員（30歳以下）教育の場を増やして頂きたい。海外研修（6つ程度、米国・EU諸国）。研修に要する費用はクラウドファンディングを活用）。
高齢者ドライバー対策を進めないと安心して街も歩けなくなる。高齢者が車なしでも出歩けるような交通（バス等）の充実。サポカー等の安全装置に対する補助等。さらには、高齢歩行者に対する安全意識向上の啓発。
福島市は「無難な自治体」としてのまちづくりは成功している印象があるが、人口減少社会において無難だけでは安定成長は見込めず、したがって安住の地として選ばれにくくなる日が訪れよう。ヨソ者を心底歓迎し辛い田舎の空気感は確かに存在するが、一方で自治体としての存亡に危機感を持ちながら、「人・産業」の奪い合いで勝てるような、尖った特色づくりを旗振りする役割に期待したい。どの領域でも良いので「全国で初めて」「全国で唯一」を市役所が主導でコンスタントに作っていけると良いように思う。郡山市、仙台市に追いつけ追い越せの感覚では不十分だ。そうやって雰囲気を変えていかないと産業界は追従できないだろう。
まちなかの催し物など頑張っているのは分かりますが、身内だけの催し物になっているような感じがします。
若者が集える場が増えればもっと活性化するのではないかと。著名人も多い地域だが、認知されていない方もいる。強くアピールすべき。
福島駅東西ターミナルの一般車利用における不便さの改善を求む。西口駐車場の出入り難さ、降車専用スペースの長時間駐車乗車利用など。
様々な取り組みがなされていると思いますが、市民に周知理解されていないことが多いような印象。目玉となる策が果たしてどれか、福島市のよさをアピールするものが何かは伝わってこないです。伊達にイオンができれば、福島市のイオンはどうなるか不安。福島のイオンはトイレも古いし直さないし。商業施設に魅力があるとよいと思います。
福島駅東西自由通路の工事はどうなりましたか？
コロナもあり観光で人を呼ぶのも厳しい中でなんとかこれ以上福島市の衰退を防ぐ方法考えて欲しい！やはり働く場所があり買い物するところが沢山ある町、簡単に出来そうで出来ないこの問題を克服すれば自ずと人が集まり活気ある福島市が取り戻せるのではないのかと思う。
先日の地震の際にホームページを見ましたが、震度の大きさと時刻の更新だけがっかりした。
お金をかけるべきところが違っていると思います。図書館や学習センターのトイレが汚いので、新しい市立図書館に期待しています。もちろん学習センターのトイレも直してほしいです。
除染土壌の仮置場保管基準の法令遵守。ICTの更なる活用とDXの推進。福島市中心となったSDGsの啓発と実践。震災前に周知のあった下水道計画の見直しに関する市民への周知の徹底。
クルマ優先でなく、人や自転車安心して移動できる環境整備が必要。
駅前のさびれた感がどんどん増していく。中合がなくなり、子供の服や雑貨屋が西松屋とユニクロとトイザラスしかなく、買い物する場所がない。コロナで遠出できなくなったので、ネットでしか購入できずお祝いものを購入する場所がなく困っている。気軽に買い物する場所がない。学童に入れないという声を聞くため心配。周りの声を聞くと保育園に入れない人も他の市に比べて多い気がする。
買い物難民を減らしてください。巡回バスなど。
もう少し福島市全体が明るくなるようにしてほしい。全体的に保守的で新しい話題が少ない印象。他地域からも若い人を呼び込むためには、中心市街地だけでなく、郊外に大型店を誘致することが必要だと思います。

ご意見一覧（順不同）

駅前がだいぶ整備されてきたのでよいと思います。街なかにデパートがないのは寂しいですが、イベントができるスペースが予定されているようなので楽しみにしています（郡山のビックパレット的な施設が福島にもあるといいかと）。

いつも通勤路でゴミ出しがひどくてゴミが散乱している場所があるのですが、そう言うのは指導してもらえるのでしょうか？地震でブロック塀が倒れているお宅があったので、そういう点検もして安心安全なまちづくりをお願いします。

中合跡などに古閑裕而さん等のパネル展示をするだけでは人が集まらないと思う。アトラクションやエンターテインメント性のある施設にしてみてもどうか。こむこむのプラネタリウムはととても素敵だが、大人だけでは入りにくい雰囲気がある。プラネタリウムのような、体験できるおもしろい施設を増やしてみてもどうか。一度行けば終わりの施設ではなく、何度も通いたくなる施設づくりをしなければ勿体ない。駅前に医大のキャンパスがあるので、若者の流れも踏まえて、中心市街地にたくさん人が集まり、一日中楽しく過ごせるような街づくりを期待している。

市が行っていることも知らないことが多くある。こちら積極的に情報を取り入れることが大切だと思った。

福島市受動喫煙防止条例のパブリックコメントに意見をしたが、ことごとく却下され、どのような決定過程で却下されたのか知りたい。また、以前パセオ通りの灰皿撤去について意見をしたが、いまだに撤去されず、市道の不法使用による灰皿設置が継続している。市に訴えてもだめであれば、裁判所に訴えなければいけないのか、教えてほしい。

中心部の対策は目立ちますが、端部の住民にはあまり施策が感じられません。コロナ対策も何でも禁止すれば良いという施策が目立ちます。前へ進めながら対策をとることが求められると思います。そのためには各地の状況を細かく精査するのが良いと思います。

全体的に生活において必要なことは、整備され暮らしやすいと感じています。広く浅くの感じがするので今必要なことは手厚く対処してもらえると助かります。

福島市のゴミの分別。特にリサイクルの気持ちが足りないと思う。ゴミ問題でも全国有数のゴミ排出量であることからそう思う。他県から来た私にとっては非常にゆるい。あと、汚水の匂い問題も取り上げて欲しいところ。学校教育はがんばっているとおもうが、教員人数をもっと確保してより専門的な知識を与えて欲しいところ。

ホームページ、市政だよりを使ってもっと具体的に取り組み内容を教えてほしいです。

福島市の町中に公園があると人が集まると思います。

一日中いても飽きない、また来たくなるようなまちづくりを望みます。

少子化対策の、具体的な政策ビジョン計画策定。

2月初めに福島市から宮城県へ転居いたしました。地方の町に住んでいますが、JRの駅～町役場～ニュータウン～隣町の駅まで、各経路行きの路線がどこから乗ってどこで降りても100円で利用できます。また、本数も1時間に一本あります。バスはノーステップの小型バスで、町が民間企業に委託して運行しているようです。行政機関、病院、公的機関が町の中に集約されており、コンパクトシティー化が実現されています。また、ゴミ袋も、燃えるごみ、燃えないごみ、プラスチック用など色分けされています。福島市の方が圧倒的に人口が多く、財源も豊かですが、やはり車がないと普段の生活では不便です。福島市は郊外型都市のため、公的機関や、行政機関、市民のための公共施設がバラバラに配置されており、不便さを感じます。福島駅前活性化に取り組むのであれば、立派な公的施設整備も大切ですが、駅前に児童が遊べる芝生や遊具のある公園を整備することで、子育て世代が憩い、集い、場所に変化するのではないのでしょうか。駅前に商業施設の整備だけでは、市民はそんなにお金に余裕はないため、足を運ぶ機会はほとんどありません。

観光PRはととても魅力的に発信されていると思います。まちの美化も維持されていると思います。ネットでの行政の情報発信もわかりやすく便利。市政だよりの内容も濃くまちづくりをより良くしたい気持ちが伝わります。教育環境にもっと力を入れて欲しいです。オンライン導入期待しています。

ご意見一覧（順不同）

思う通りいかない事が多くて大変なお仕事されていると思います。お疲れ様です。でも皆さんの大変さが見えなくて福島市役所は仕事が遅い、市民の利便性は考えてない。外注や委託に直ぐに回して自分達は仕事をしてないから市民からの問い合わせに返答が出来ない等、巷の噂話から人口も減ってく。町をどう作りたいのかもっと見せて欲しいです。車でばかり移動しないでチャリや徒歩でバスに乗って動いてみてください。駅前近くだつてベビーカーが使いにくい道があり、冬場にはチャリ通の学生さんが転んでいます。車イスは通るとこ見たことありません。女子、老人、障がい者にも住みやすい町とは難しいのでしょうかが歩かせないとガソリン代の安い他県に買い物等でも居住でも人が流れそうです。

市民が穏やかな毎日を送れる環境作りを願います。

隣の伊達郡や伊達市と比べると、子育て支援については非常に保護者に負担を強いることが多いように思われる。例えば、学童保育の料金は伊達郡や伊達市の6倍から10倍（伊達郡、市は3000円）、児童センターの開館時間は10時から5時半。伊達郡、市は7時から7時。児童発達支援事業、放課後等デイサービス、日中一時支援のサービスを受けるのも、伊達郡市と比較するとサービスを受けることが難しい。これらの不満から現に福島市から伊達市へ転出している方が増えている。子供たちや障がいをもつ子供たちが、生きやすく保護者も安心して働いたり子育てができる市政を行うべきではないか。西庁舎を立てると今の市長は言っているが、まずは子育て支援に目を向けるべきでは、伊達市を見習う必要があるように思われる。

【政策調整課のまとめ】

本アンケートを通して、福島市が進めている「中心市街地の活性化」、「商業の振興」、「住みよい環境の形成」など、地域経済の活性化や自然・生活環境の保全などに関する取り組みについて、市民の皆さんが優先的に行なってほしいと考えている一方で、これらの現時点の満足度は低い傾向にあり、今後の着実な推進が望まれていることが分かりました。

「安全な生活の確保」や「生涯健康と保健医療の充実」、「子育て支援の充実」に関する取り組みについては、満足度が概ね高い傾向にあるものの、より一層優先的に行なってほしいと考えていることが分かりました。

また、自由記述欄においては、情報発信やPRの充実を望むご意見など、非常に多くの多方面にわたるご意見をいただき、改めて市民の皆さんのまちづくりに対する関心の高さが伺えました。

今後も、市民の皆さんからの貴重なご意見を参考にしながら、まちづくりに関する取り組みを進めていきます。ご協力ありがとうございました。

【お問合せ先】

福島市役所（〒960-8601 福島市五老内町3番1号）

《アンケート内容に関して》

福島市政策調整部政策調整課総合計画係
電話 024-525-3788（直通）

《市政ネットモニター制度に関して》

福島市政策調整部広聴広報課
電話024-563-7488（直通）